

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2018年5月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539

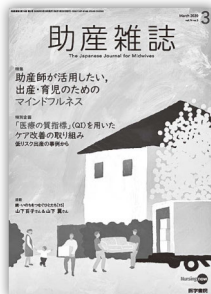


2020年4月号

特集

妊娠糖尿病

妊娠期から始める女性の健康支援
2020年4月、妊娠中のみを対象としていた「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」が産後まで拡大されました。特集では、産後の2型糖尿病発症予防の観点から、妊娠糖尿病それぞれの個性を捉えた、母子双方へのより良い支援を考えます。



2020年3月号

特集

助産師が活用したい、出産・育児のためのマインドフルネス
妊娠・出産は予期せぬ出来事にぶつかることもあります。それを受け止め、あるがままに迎えるための方法の一つとして、マインドフルバーシングが挙げられます。助産師さんを通して多くの妊婦さんに知ってもらいたいマインドフルネスの基本を紹介します。



2020年2月号

特集

外国人妊婦のケア転換期

在住者・旅行者を受け入れるための「乗り越え課題」とは
外国人妊婦への対応件数が増える中、さまざまな課題を克服し、工夫や努力を重ねている施設を特集しました。旅行者への対応、在住者へのフォローアップ、支援や関わり、コミュニケーションの取り方などについて学びたいと思います。

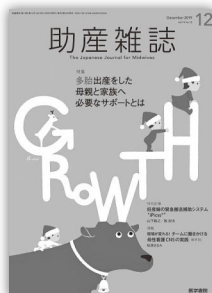


2020年1月号

特集

自由な発想で助産ケアを発信しよう 社会に広がる助産師の活動

本特集では、場に縛られることなく、自由な発想で広く社会に情報発信をし、母子と家族の支援を行っている方々の、助産や医療の視点だけに留まらない活動をご紹介します。特集を通じて、病院と、地域や社会がゆるやかに連携し循環することを願っています。



2019年12月号

特集

多胎出産をした母親と家族へ必要なサポートとは
本特集では、多胎出産・育児への援助を必要とする母親と家族へのケア・支援を行っている団体、施設の取り組みを紹介します。追いつめられる母親を一人でも救えるよう、助産師をはじめとする専門職ができる支援やケアについて考えます。



2019年11月号

特集

「授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)」をよりよく活用するために
2007年に作成された、保健医療従事者向けの「授乳・離乳の支援ガイド」が約10年ぶりに改定されました。本特集では改定版の概要や、改定版の主なポイントを解説します。本特集で、助産師さんがよりよくガイドを活用できるお手伝いができますように。

2019年 特集

- 10月号 「助産師の自律」と「女性中心のケア」を実現するために
- 9月号 みんなが参加したくなる 両親学級&母親学級のヒケツ
- 8月号 分娩期と産後にも活用したい超音波
- 7月号 最新! マイナートラブルへのアプローチ
- 6月号 助産師が知っておきたい2週間健診&1カ月健診での母子支援
- 5月号 子どもを取り巻く現状に即した性教育とは
- 4月号 数十年先まで見据えた周産期のケア 尿失禁や骨盤臓器脱から女性を守る